

1	審議会名	第7回真田地域協議会及び分科会
2	日時	令和3年10月26日(火) 午後7時00分から午後8時30分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂及び各分科会場
4	出席者	荒木克子 委員、飯島光彦 委員、金井梢 委員、金子幸恵 委員、木島徳行 委員、倉嶋幸雄 委員、関谷政彦 委員、滝沢博文 委員、中村すみ子 委員、堀内育子委員、堀内和子 委員、堀内誠 委員、堀内靖子 委員、前澤幸盛 委員、皆川克彦 委員、柳沢泉 委員
5	市側出席者	櫻井地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、杉山市民サービス課長、柳沢産業観光課長、皆瀬建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長、宮崎課長補佐兼地域政策担当係長、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ <del>一部公開</del> ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年10月27日
協議事項等		
<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（滝沢副会長進行）</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 センター長あいさつ</li> <li>4 報告・確認事項</li> </ol> <p>(1) 上田地域協議会の設置単位の見直しについて（地域振興課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上田地域での6地域協議会を、右岸地域と左岸地域の二つの地域協議会に統合することで了承されたことが説明された。真田地域協議会からは昨年度了承の答申済み。</li> </ul> <p>【質問】</p> <p>(委員) 意見書の結果の中の付帯意見について不思議な文言があるのだが、「適切な委員の選考に配慮する」とはどういう趣旨での言葉なのか。行政はどうとらえているのか。イメージがわからない。</p> <p>(地域振興課長) 右岸左岸でそれぞれ3つの地域協議会が一つになるということについて、人数については20人以内になるということでそれぞれの地域からの人数についてはバランスよくという点、そして地域ごとの抱える課題については様々であるので、その分野に熟知している方を選任していただけたらと思う。</p> <p>(委員) 非常に難しい問題だ。実際この真田地域協議会も各団体推薦で出席されている方も多い。その2年という地域協議会の任期の中で(団体任期では)1年の方もいらっしゃるということもある中で、この付帯意見というのはとても貴重な意見だと思う。また来期、この地域協議会も新しい委員を選任すると思うが、そもそも2年という任期の中で地域協議会委員を選任するのに、もともと1年任期である団体からも選出されているのは非常に不思議な感じがする。今後の真田地域の課題のなかで、当て職で出てくるということに関して、よくよく考えていかなければならない。また、この広い上田地域が二つに分かれた中でも各20人の委員でいいのなら、ここ真田でも20人以内の中であれば、現状の20人マックスで運営している真田地域協議会も皆さんの負担に見合った人数にしていかなければ、今後の運営が難しくなるのではと懸念している。</p> <p>(地域振興課長) 貴重なご意見ありがとうございました。委員選考基準など、所管である市民参加・協働推進課が検討を進めているところだと聞いている。まもなく第9期地域協議会委員の皆さんの選考も始めていかなければならない時期なので、只今ご意見のあった委員委嘱人数を含めて、今後の検討材料とさせていただきますと考えている。</p>		

(2) 次回協議会の開催日程の確認

当初の計画どおり、第8回真田地域協議会の開催は令和3年11月24日（水）午後7時からであることを確認した。

(3) その他

- ・事務局から地域振興基金の活用について、予定される事業が発生した場合は地域協議会での審議を依頼する旨を説明した
- ・人権男女共生課から多文化共生推進協会のパンフレットの配布があった
- ・本日の分科会協議についての進行に関する説明

6 閉会

◇第2回分科会協議

(第一分科会：地域づくり委員会について)

(第二分科会：住民自治組織について)

(第三分科会：地域ネットワークについて)

第1回分科会の意見をもとにした取りまとめの方向性の検討、発展的な意見交換